科目名	スポーツ指導論　　Sports Instruction						
科目担当者	三輪 正和　　MIWA Masakazu						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　スポーツ・健康］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　スポーツ・健康］					ディプロマポリシーとの関連	(2)(4)
授業の概要	スポーツ活動における望ましい指導者像や計画的・合理的な指導方法を概説するとともに、スポーツ指導における安全確保の重要性とその管理方法を学修する。また日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（コーチングアシスタント）の資格に必要な講義内容とする。						
授業の到達目標	① 指導者としての心構え・視点、更には様々なスポーツ指導現場に対応できる基礎的な能力を身につける。 ② 指導者という立場にたったとき、子供や大人、または男女の違いといった各対象者に対して、常に適切な指導者としての資質を備える。 ③ 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（コーチングアシスタント）の資格取得を目指す。						

授業計画・内容		
	1	コーチングとは（1）コーチングとコーチを定義する
	2	コーチングとは（2）プレーヤーズセンタードなコーチング
	3	コーチに求められる役割（1）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が負う責任と求められる役割
	4	コーチに求められる役割（2）安全なスポーツ環境の構築（予防）と問題発生時の対処法
	5	コーチに求められる知識とスキル
	6	対他者力を磨こう（1）コミュニケーションスキル
	7	対他者力を磨こう（2）ファシリテーションスキル
	8	対自己力を磨こう（1）コーチの学び
	9	対自己力を磨こう（1）コーチのセルフマネジメント
	10	時代をリードするコーチング
	11	コーチング環境の特徴（1）ジュニア期のコーチングの留意点
	12	コーチング環境の特徴（2）運動部活動でのコーチングの留意点
	13	コーチング環境の特徴（3）中高年者へのコーチングの留意点
	14	コーチング環境の特徴（4）性別の考慮
	15	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング

授業外学修 (事前学修)	指定した教科書の当該項目を事前に読んでおくこと。(毎週２時間程度)
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し不明な箇所を調べておく。（毎週２時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	80%	① ② ③
	レポート	10%	① ② ③
	講義時の発表	10%	① ②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『Reference Book』 公益財団法人 日本スポーツ協会
参考文献	
その他	クラブに所属していなくても、将来人の上に立つことを目標とする学生には受講して欲しい。